

Javaのデータベース接続

JDBCドライバーの読み込み

2 時間目

JDBCドライバーの読み込み①

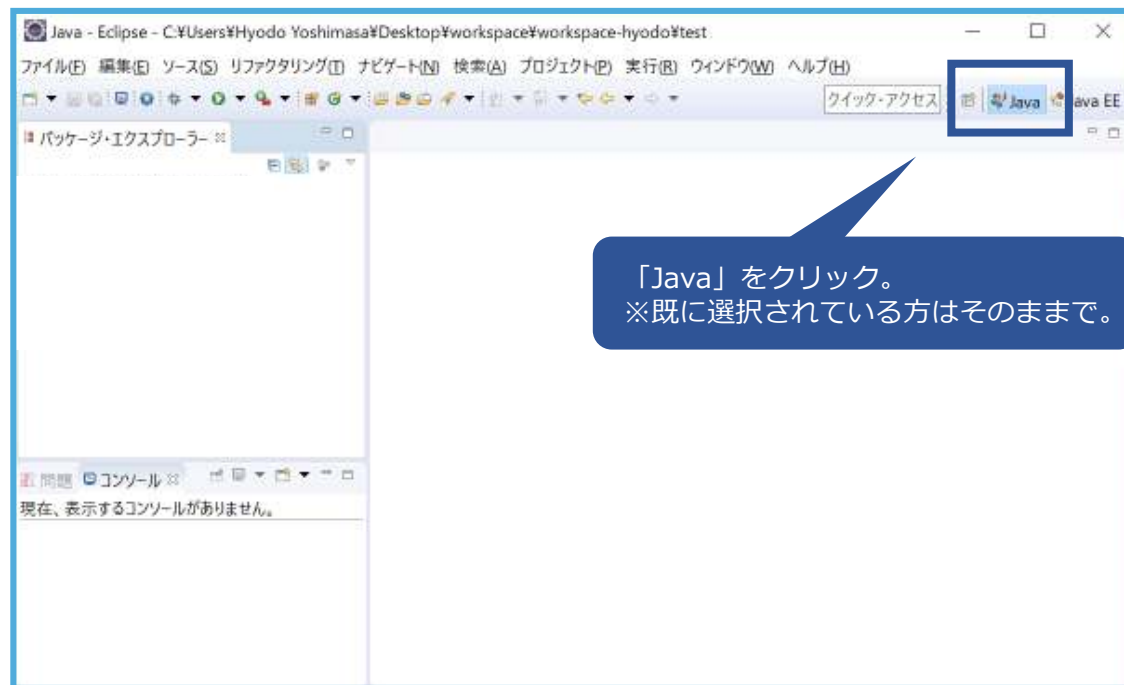
ダウンロードしてきたJDBCドライバーを、
Eclipseで作成するプロジェクト上へ読み込みます。

ここでは、後々DBConnectorを作成した際に、いつでもJDBCドライバーを
呼び出せるよう準備しておくためにJDBCドライバーを読み込んでおきます。

JDBCドライバーの読み込み②

解説

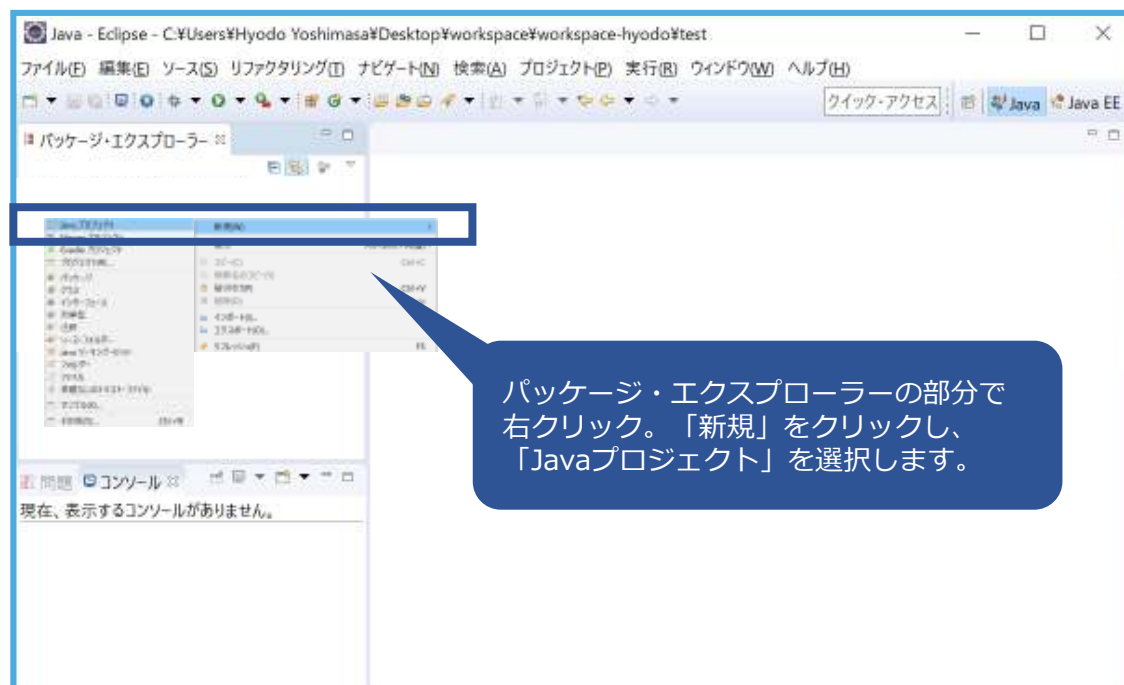
まず、Eclipseを開いて、Javaプロジェクトを実行できる状態にします。



JDBCドライバーの読み込み③

解説

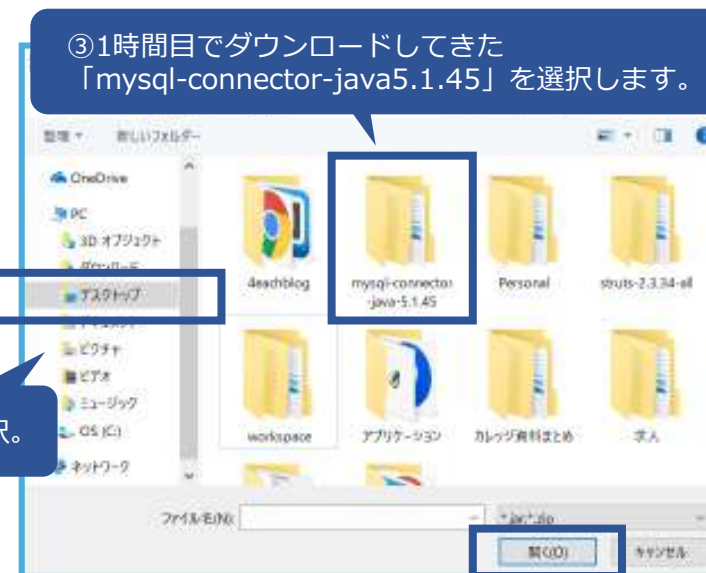
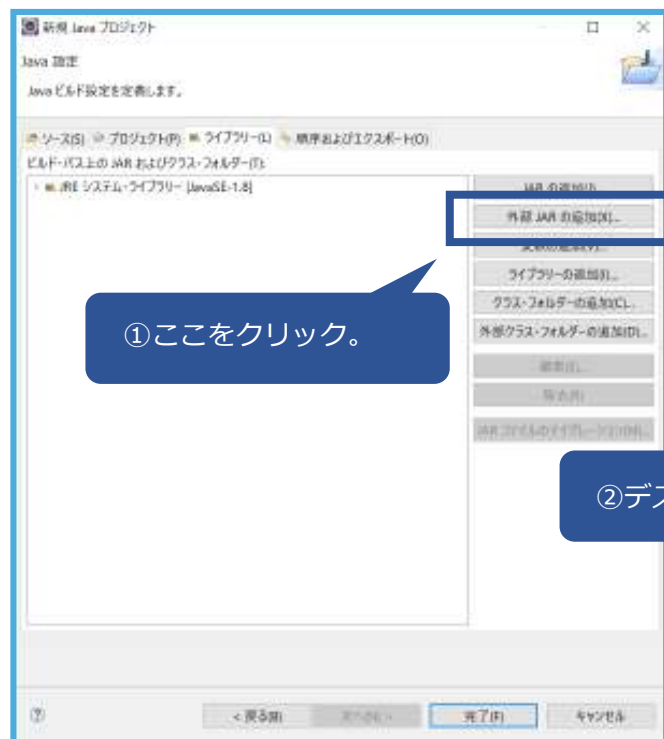
ここではプロジェクト名を「TestDB」として進めていきます。
Javaの基礎で学んだ同じ手順でJavaプロジェクトを作っていきます。



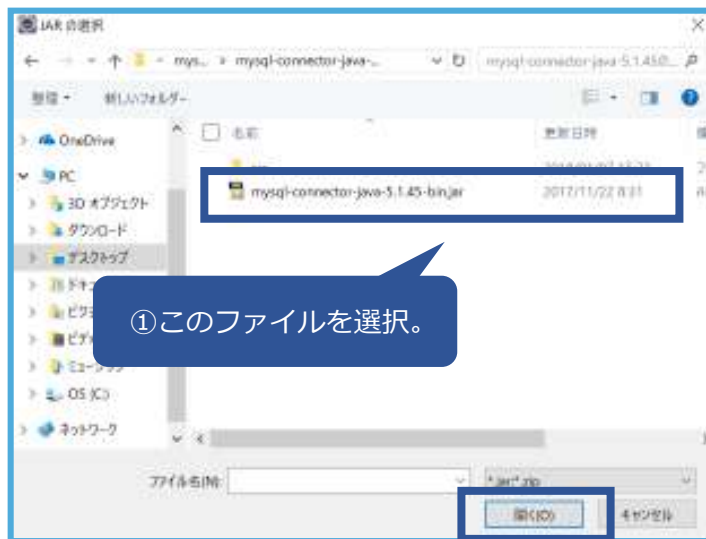
JDBCドライバーの読み込み④



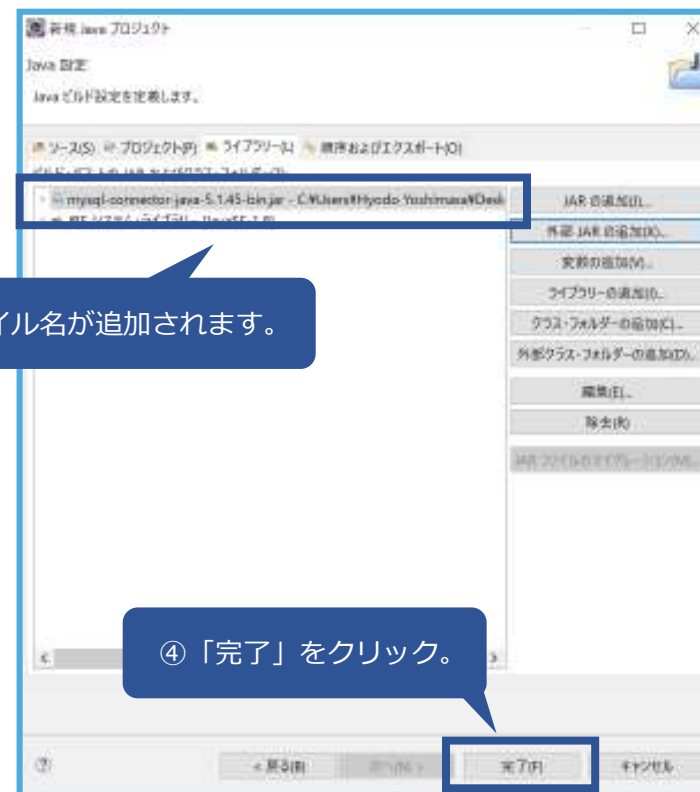
JDBCドライバーの読み込み⑤



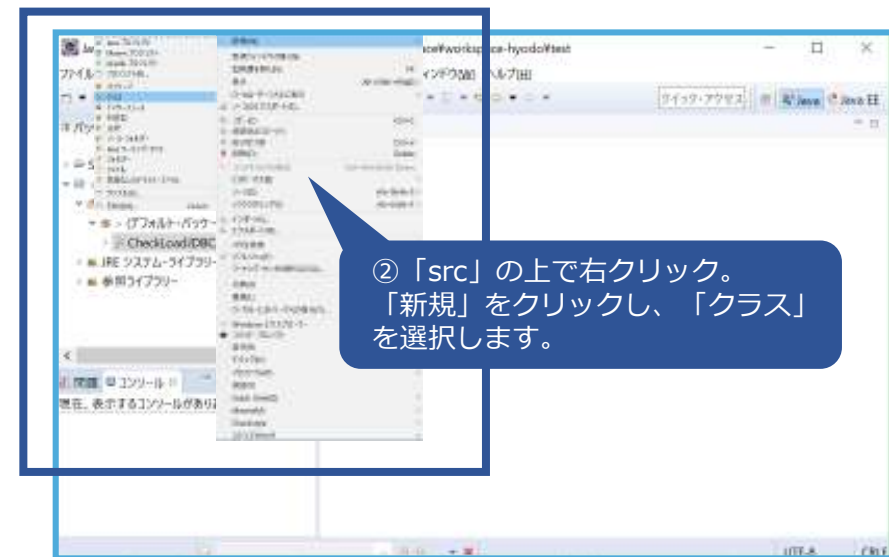
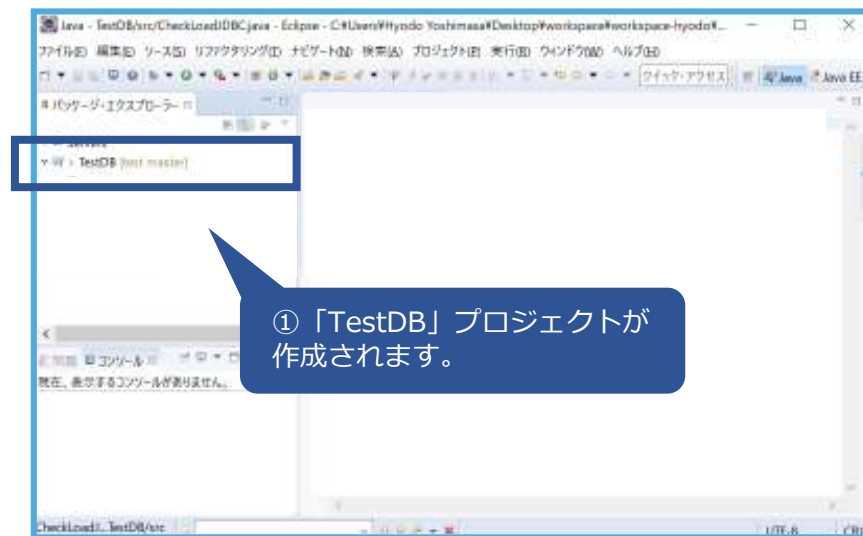
JDBCドライバーの読み込み⑥



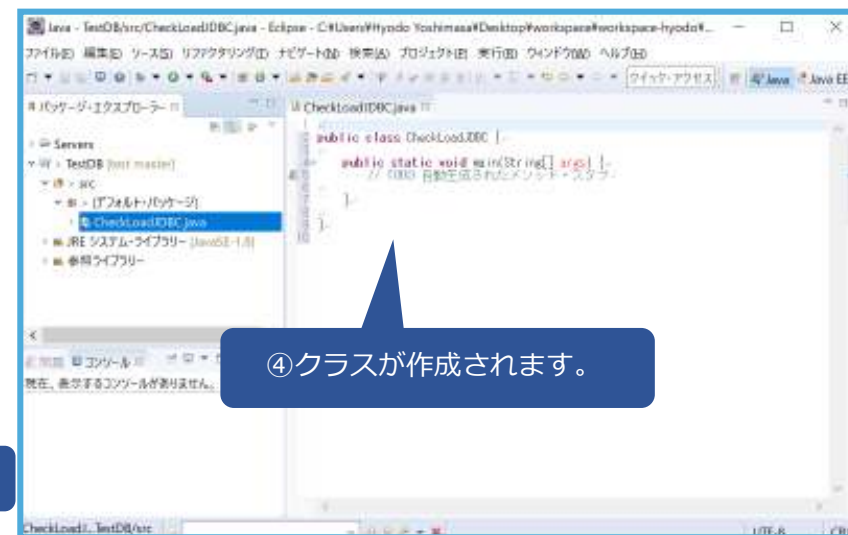
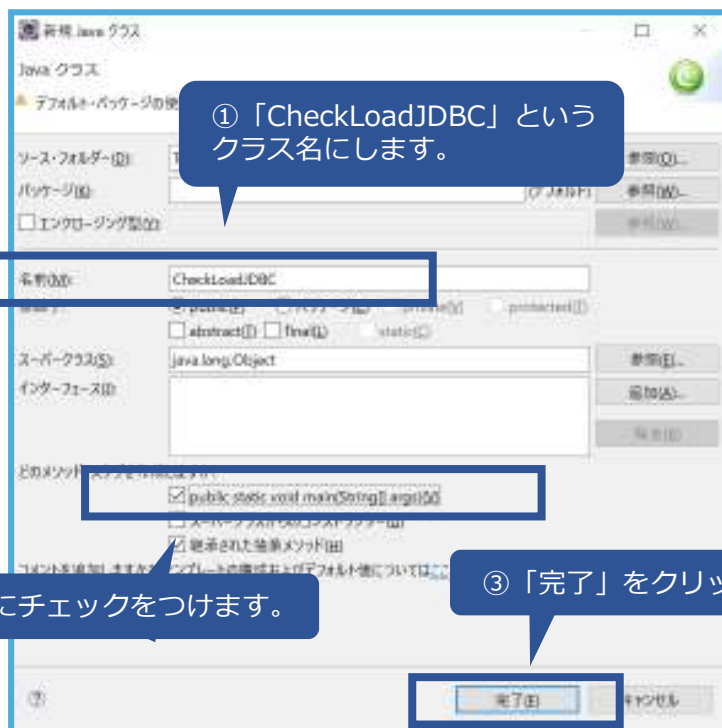
③ファイル名が追加されます。



JDBCドライバーの読み込み⑦

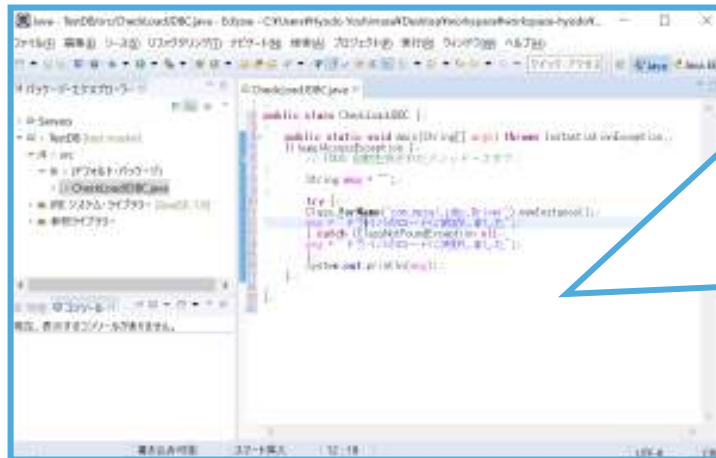


JDBCドライバーの読み込み⑧



JDBCドライバーの読み込み⑨

以下のプログラムを記述します。
※ここでプログラムの意味は理解しなくて大丈夫です。



```
public class CheckLoadJDBC {
```

```
    public static void main(String[] args) throws  
        InstantiationException, IllegalAccessException {  
        // TODO 自動生成されたメソッド・スタブ  
        String msg = "";
```

```
        try {  
            Class.forName("com.mysql.jdbc.Driver").newInstance();  
            msg = "ドライバのロードに成功しました";  
        } catch (ClassNotFoundException e) {  
            msg = "ドライバのロードに失敗しました";  
        }  
        System.out.println(msg);
```

```
    }  
}
```

JDBCドライバーの読み込み⑩

